

教 科	公 民	科 目	公 共
履修条件 対象生徒	必修 デザイン科 1 学年		
学習目標	・地球に生きる一人ひとりが異なる考え方や価値観をもつ(複数性)ことを理解する ・この「複数性」を前提とした、対話を通じた合意形成を体験する ・現代社会の諸課題に関する基本的な知識を学び、課題の解決策を探究するために主体的に考え、判断する能力を身に付ける ・身近な話題で現代社会の諸課題について考察し、社会参画者である自覚を深める ・持続可能な社会の実現に向けて、自分達が取り組むべきことやできることなどを考える		
学習方法	〔授業〕 ・常に「公共圏」であるよう、生徒の対話の機会を増やす ・学習内容の理解が深まるように、身近な話題をとりあげる 〔家庭学習〕 ・日々伝えられる出来事に興味や関心を持つよう促し、ニュースに触れる機会を増やす ・学習内容の定着を図るため、教科書を読む機会を増やす 〔補習・その他〕 ・補習は設定しない		
学習計画 と ね ら い	< 1 学期末考査まで > 第 1 章 公共の扉 < 2 学期末考査まで > 第 2 章 現代社会の諸課題 < 学年末考査まで > 第 3 章 持続可能な社会へ	○公共的な空間と人間のかかわり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性、などに着目して、社会に参画する自立した主体とはなにかを探究する ○人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いを高め合う存在であることを理解する ○よりよい社会形成をめざす自立した主体となるべく、学習内容にかかわる具体的な主題を設定する ○幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して主題を追究したり議論をおこなったりする学習を通して、合意形成や社会参画への理解を深める ○第 1 章および第 2 章で学んだ公共的な見方や考え方をういて、諸課題の解決策を模索する	
評価規準	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	・地球に生きる一人ひとりが異なる考え方や価値観をもつ(複数性)ことを理解している ・現代社会の諸課題に関する基本的な知識を学び、課題の解決策を探究するために主体的に考え、判断する能力を身に付けている	・この「複数性」を前提とした、対話を通じた合意形成を体験している ・身近な話題で現代社会の諸課題について考察し、社会参画者である自覚を深めている ・持続可能な社会の実現に向けて、自分達が取り組むべきことやできることなどを考えている	・積極的に左記の各能力を身に付けようとしている ・他者との対話の場で、自身の意見を表明できている
評価方法	授業への参加、定期考査、課題および提出物を総合的に判断して評価します		